

LE COEUR

## 目 次

「北山杉に思う」	2
「ル・クールの見た松高」	4
生徒会報告	8
松高 365 日	30
ル・クール御意見板	
教養と無教養の間で	28
一言、言わせてもらいます	31
詩のペえじ	31
紀 行 文	
水泳教室	39
インド紀行①	41
編 集 後 記	51

## 「北山杉」に思う

学校長 鈴木 雄四郎

十一月の中旬、京都市で開催された全国高等学校長会の帰路、洛北を青遊する機会に恵まれた。生憎の小雨であつたが、雨の紗を通して見る高雄の紅葉は、しつとりとした興趣をそえ、一入の景観であつた。

しかし、私がもつとも心を惹かれ、強い感銘を受けたのは、洛北の杉木立、いわゆる「北山杉」の見事な林立の姿であつた。そうそうと天を衝くすつとした、いかにものびやかな姿、幾星霜の風雨に堪え、霜雪を渋いで、のびのびとすこやかにそそり立つてゐる。そこには、微塵のいじけた面影もない……。私はそれを見つめている中に、一本一本の杉が、東京における諸君の面影に重なりあつて行くのを感じたのである。

かくあれかしと念じつつ。

私はそこに、人生を逞ましく生き抜いて行く人間の姿を見る思いがしたのである。

先月のニュースには、大学生の休退学者の高率なことを報じていた。そしてその原因として、経済的な理由とともに、ノイローゼ病による休退学者の多いことをあげていた。「狂氣」の時代の犠牲者か。いたましいことだ。君たちにはその憂目に逢わせたくない。ぜひ、強く人生を生き抜いてほしい。願をこめて気づいた点を記して見た。

### 「生きる」ということ

「生きる」とは、積極的に自分の意志で、自分の人生を開拓し、これを乗り切つて行くことではなかろうか。義務教育は、小・中学校で終りである。高校に進学するもよし、実社会で活躍するもよし。君たちは、「生きる」ための岐路で、高校進学の道を選んで來た。

実務についた人たちは、実社会の中で「生きる」ということを学び、模索し、実践している。

諸君は、学校で教科その他を通して「生きる」ことを学びとり、実践して行くのである。諸君の多くは、「科目」の成績の高下に一喜一憂しているが、長い人生から見るならば、「科目」の成績よりも、その成績がいかにして出て来たか、日頃の学習態度、生活実態こそ、諸君の将来の人生を築くものであることを忘れてはならない。難かしい学科、乏しい時間、そして若い心をそそる多くのレジャーなどがある。これをどのように切り盛りし、選り分けて行くか。真剣に、一心に自分に適した方向を見つければ、ぶつかって行く。そう、今年の文化祭のテーマである「創造への挑戦」を、自分の生活の中で、どのように展開して行くか。これこそ君たちの「生きる」実践である。そして、その最適の評定者は君たち自身である。積極的に、自律的に、日々の生活を生きて行こう。私が今諸君に切望しているのはこのことである。

# ル・クールの見た松高

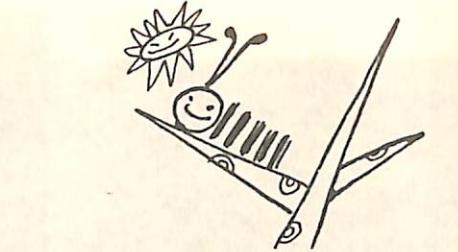


帰りにたいやき食べようよ



「.....」

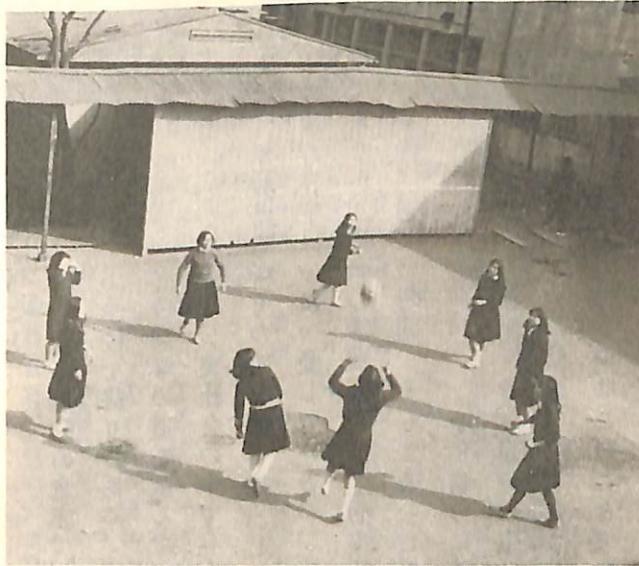
男子の目を楽しませるために、女子の写真だけをのせました



最近、こ一いうのがふえてきました



MHU



早弁して昼休みはバッヂリ遊ぶ主義



松高の常識.....早弁



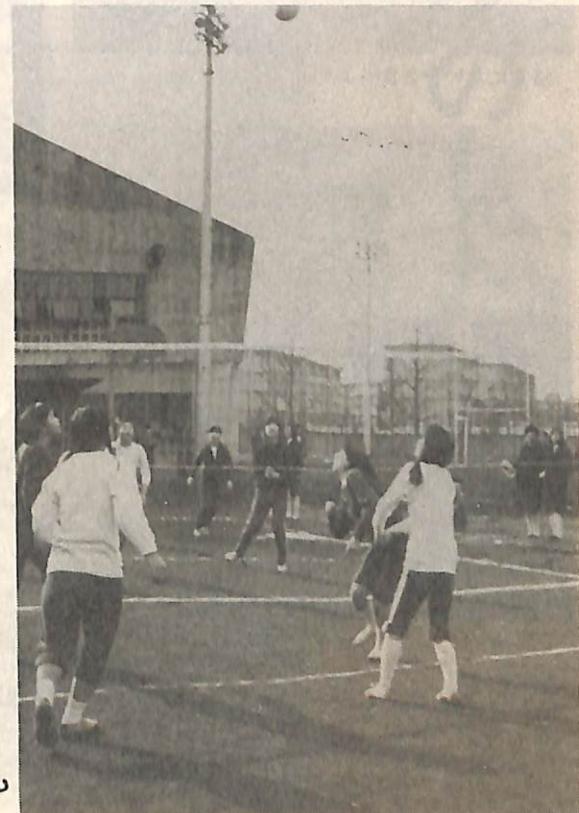
(ラグビー国体に出場)



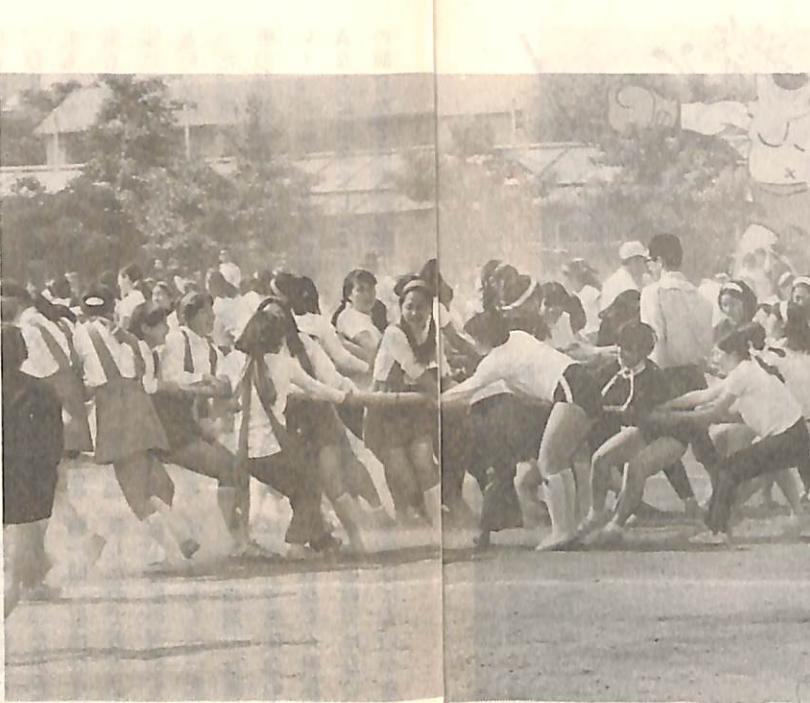
文化祭



三



体 技 大 会



## これが本性？（体育祭）



# 生徒会報

前期生徒会長 鈴木 稔

をすつた事もある（その時は、たまたま輪転機が故障していたのだが）。そのように苦労してすつたプリントが総会が終わると無残に

いたりしたのを見ると、自然に泣けてきた。

総会中も大変で、悪質な質問をふっかけられたりもめられていました。そのような脱線的な総務であつたが、

我々の時は、強制立候補というまるで機動隊

成果は大きいものだつたと思つていて。体

の盾みたいなものにおされてでてきた、作り

の生徒会があつたのだ。このよだな考へ

であつたのも無理はない。したがつて我々は、化祭を生徒会主催とした。大きな成果である。

生徒会の仕事なんて何一つ知らないし、又や

りたくもなかつたのでノロノロしていた。所

信を作る時など、どのよだなものにするかは

「会長一任！」の一言。まるでダメだった。な

まあまあ会計の諸君はよくやつてくれた予算

案も無事通つたがそれつきり役員は、生徒会

室に近寄りもしない。これじやしようがないこと

といでの総務会を開きようやく活動が始ま

つた。僕たちの時には、会費の値上げ直後の

事だったのでいろいろトラブルもあつた。な

いしょの話しだあるが会費が足りなくてPT

Aなどに借金をしたこともあつた。生徒総会

の前日などは大変で夜の九時頃までプリント

祭を六月に開き成功させた。また前にも書い

た通り会費の値上げ直後の予算案の作成・文

件一回「生徒会は終りだ。」という意見に一

致したのである。あまりにしようがないこと

だ。今度の選挙も立候補なしの強制的、おか

げで僕ももう一度など危い目にあつていて

また、当選した者も会長をはじめてして一年

ばかりで生徒会の事は知らないときている。

いくらうまく引き継ぎをしても、どうしよう

もないのではないか。といつて責任上見はな

すわけにもいかないのでいろいろ教えたが、

以上

年度から実施することになつています。

委員会の仕事としてまず「体育祭の校舎内

外の警備」で定例会の時には充分やる気を示

しましたが、やはり体育祭という特殊な雰囲

気の中では、競技の方に気が移り気味で警備

しまったが、やはり体育祭といつても、とにかく

はおろそかになつてしまひました。とにかく

盜難などがなくて良かったと思います。

「昼休みの正門警備」は最初皆良くやつて

面を借りてその人達にお礼を言うとともにこ

れからも良き指導をお願いしたいと思います。

前期に取り上げた議題の主なものは三つで、ようありました。一番良い方法は生徒全員

まず「上書きの件」でこれは、各クラスの生

活委員が報告したことと思うが、今までの上

げと認められていたものに運動靴を加える

ことということに決定し、評議会に提出。

次に「服装の自由化」……「制服問題」で

総務から一任され、委員会でアンケートを作

り、答えてもらいましたが、これは回収率が

非常に低いので、最終決定はせずあくまでも

参考資料ということで、委員会で話し合つた

結果現状維持ということになり「現状維持」

が、総務としての服装問題についての決定で、

「週番の件」は、話し合つた結果現在の週番の規定を改正し使用することになつて、来

れば、松高は決つして進歩せず、また不満だらけの学校生活を送ることになるでしょう。

そういう意味からでも、各委員は委員会を良く理解し、クラスの無関心者を引つぱるくらいになつてもらいたいと思います。

今こうして、ル・クールから書くように言われ、自分をぶり返つてみると半年間の委員長は短かいようで長かつたよう思ひます。

われ、自分をぶり返つてみると半年間の委員長は短かいようで長かつたよう思ひます。

統率力がないために、掛声だけで終わつてしまつたようにも思ひます。このような委員長の下で働いてくれた、前期の生活委員にお礼を述べておわりにしたいと思います。

「本当に皆さんご苦労様でした。」

最後に「文化祭の警備」は、定例会で一度却下されましたが、総務からの仕事というこ

とでもう一度審議しなおし、警備することに

決定しました。また、良く各委員が協力して

仕事に専念してくれたことも、前記と異なつていました。

僕は今まで、一年半生活委員をやり、その

間感じたことですが、各委員がもつと積極的

いへんな仕事があつたが、委員及び生徒諸君

のよき協力を得て、無事に終了することがで

きた、そのほか、一学期毎二回う三回の大そ

うじ、春に行なつた花壇の整美などがある。

どうもうまく活動していないらしい。そこでここに教訓めいた事を二、三書いてみる。

① 生徒会室は開放すること（これは我

が鍵をとりつけたときよりの鉄則）

② 公報を出し、生徒間と密接な関係をまること。

③ 委員会との関係も密接に。

このぐらいであろうか。とにかく生徒と密接な生徒会を目指すべきである。とくに後期

は行事が少ないのでからこの点は注意してほ

しい。もう一つ願いがある。生徒総会は、は

やくはじめほしいうことである。つま

り、生徒をはやく講堂の中に入れることがで

あり。大切な事だ。とにかく、僕たちのような

生徒会にならずにより高度なものになってほ

しい。

いろいろと前期生徒会の事を書いたが、あ

まりうまく書けなかつた。なにしろこの原稿

はもう〆切をとづくにすぎていたし、今僕は

大変疲れている。でも最後にこれだけは言わせて下さい。大切な事なんです。

『生徒会長だけには、なるなよな……』

以上

整美委員会

前期の委員会が行なつたことといえば、や

はり第一に文化祭前後の机、椅子の移動、大

そうじ、ということがあげられる。非常にた

は生徒全員に言えることで、自分達が生徒

といふものに関心を示さなければいけない

うじ、春に行なつた花壇の整美などがある。

それに加え、第二〇回卒業生の寄贈したベンチの管理、学校側に申請して作ってもらったゴミ箱の管理など、新しい仕事が増えたので、前期はけつこう忙しかった。

委員会の時の委員の集まりは、先年度に比べかなりよくなつた。毎回、二十名前後の出席が得られ、また、三年生委員の出席率も高かつた。委員としての自覚が強まってきたこととして喜ばしい。後期は、これを全員参加にもつていくよう努力されることを強く望む。

次に、生徒諸君に対しても願いがある。まず第一に、花壇にゴミを投げ込まないでほしい、ということだ。なにかまるで小学生に、言うようなことであるが、実際にそういう行ないがあるのだからしかたがない。皆の学校なのであるから各自、気をつけてもらいたいものである。幸い、前に述べたように新しくゴミ箱が作られたので、『ゴミはゴミ箱へ』の原則を忘れないよう。第二に大そうじの時のことであるが、用具の返還がキチンとできないで困る。そうじの後、一応見回りはするが、借りた物はちゃんと返すようにしてもらいたい。

まあいろいろ書いてきたが、委員、及び一般生徒諸君に望むこと、総括的に言えば、

### 新聞委員会



つてさえいれば、何んにもせず、なんの苦勞もなくすんでもしまう委員会なんです。少しでも松高を、生徒会を、生きることを、自分を考え、やる気をだしてなにか一つのことをやろうとする、自分のすべてをつぎこまなければならぬ自分から苦労つていう海にとびこんでいかなきやならない委員会なのです。泳ぎきれるかどうかわからない。でもその成果は目に見えないかもしれないけれど、とにかくにかならず成果はあらわれてくると思うんです。これはすべての委員会についていえることだと思うんですが、やる気をだしてそれ真剣にぶつかればたとえそのことに失敗しても、いつかはそれが君のためになることだと思います。残念ながら、前期の文化委員会は、だれも文化委員だという自覚をもつていても、いつかはそれが君のためになることだと思います。残念ながら、前期の文化委員会は、前書いたようにひどくよくなつた。やつたことといえば映画会『キューポラのある町』だけだったので。これからも委員会は、前に書いたようにやる気をだし、自覚をもち、三無主義にそまらないで、委員長だけが一人仕事をするようなことがないようになってほしいものです。

『自覚せよ!』の一言に尽きる。松高生、高校生としての自覚を持ち、委員、一般生徒、一体になつて、よりよい学園作りに励んでもらいたいと思うのである。

### 図書委員会

した仕事というと図書新聞にも書いたので

すが、読書会は人が集まらないのでやめて図書委員会の読書班だけでノートをまわし、そ

れにどんな本でもよいから感想を書いていき

そしてしだいにそれを広めて読書班以外の人にも感想を書いてもらって、一人づつ着実に伸ばしていく、そしていつの日かまた読書会を開けるようにしたいと思ひ九月のはじめからノートを回し始めました。その成果は、初めから間がないのではまだはつきりしたこと

は言えません。第二に、夏休みに図書委員会でハイキングをやろうと試みたのですが、連絡が一方通行だったようで失敗したことその他(図書新聞の発行など)は例年どうりに行ないました。

### 文化委員会

の委員会と異なり三年生の出席が一番いいことが、一番の特徴で、これに次いでほぼ全員が出てくるので、本当にいい委員会です。こんな具合ですので委員の協力は他の委員会より協力的です。

最後にこれから委員長に望むことは、どんなん命令して活発な委員会にしてほしいということです。

### 文化委員会

四月に九十五号を発行した時、あまりにひどい新聞だったのでこれから一年本当に新聞を発行して行けるのかどうか心配になりました。が、五月の九十六号で言つたように、月

一回発行する計画はだいたい成功したようと思われます。だから決して大言壯語を言つたのではなく、たが、五月の九十六号で言つた。が、五月の九十六号で言つたように、月にはなかつた事がおわかりいただけたでしょう。結局それだけ新聞委員会が活動した訳なのです。最も流会も何回かありました。それでも十五日に発行に至つたのです。最初のうちはなんとなくまとまりのない委員少発行が遅れても内容を充実させるかどちらかを選ばざるを得ないので。四十五年度として選選んだ道は前者の方でした。実際六月に発行された新聞は印刷にかかる日数を入れても十五日に発行に至つたのです。ところ、なぜそんなにまでして、しかも放送委員会というものがありながら新聞を発行しなければならないのでしょうか。どうせ報道するなら新聞よりずっと速く伝達できる放送という手段を使って昼休みにでも報道すればいいんじゃないかという意見もあります。それは読者の主観を入れてもう為です。スピーカーからの單なる一方通行である放送とはここが違つていています。聴者は放送といつつい内容がおそまつになつてしまふ手段では聞き手ですが、その聞き手は自分です。だから委員会のとるべき道は、内容の意見を放送という手段を使って報道する事



用で第一週と第三週は校則でからつてに家へ帰つてはいけない事になつてゐるのだが、生徒のほとんどはそんな事は全然知らないし、特活には出席せず家へ帰つてしまふ人がいるく

候補させられた人が立合演説会の時、一  
選ばないでくれ！」と言った。この言葉を  
いた時、生徒会役員になることはこんなに  
苦痛でいやなものなのかと感じられずには

このハーフィングが另行にかかっているときも、部長ではないかもしれません、彼は松高野球部いや東京都立松原高校にその名を残す英雄なのです。

らいだ。それから職生では特活の後は出欠をとる事になつてゐるが、今まで出欠をとつたことがあるクラスはほとんどないと思う。これまで生徒と先生との連絡の不徹底を

前書きはこのくらいにして本題にまいりま られなかつた。しかし、今まで強く役員にな ることを拒んでいた人もいざ選ばれると、しょ う。
職生会などで活発に発言していた。僕が思うに 生徒会とは僕達にとって何なのか、もう一度 じっくり考えなくてはいけない重要な問題だ と思う。
現在の部員は
三年生十人 二年生八人 計十八人
練習日は
月、火、木（早朝練習）、金、土の週五回で す。試合前などは、練習が多くなり、また、

ク  
ラ  
ブ



て何かやってやろうと思う人はほとんどない。選挙管理委員会が立候補者受けつけの公示をしても、必要人員十三名のところ立候補してくれる人はほんの一、二、三名にすぎない。あとは各クラスから強制的に出てもらうよろしくたがいのだ。ある人が選挙管理委員会を「生徒会保存委員会だ。」と言った。僕はその言葉を聞いたとき、そうであつてはいけないと、ずばりその通りだといふ二つの気持ちが起つた。また、強制的に立

をする。最後にまた初めと同じ校庭を回つ  
体操をし、ピッチャーマウンドに円陣を組  
で、笛をかけて終了する。今書いたのが普

の練習ですが、試合前、夏休み、合宿などは、もう少し内容を広げる。また、シーズンオン、または、春先はランニングと柔軟体操が中心になります。この期間は、面白いとは、いえませんが、来シーズンの体力をつける上で大切です。

春季関東大会予選

支部大会	一回戦 二回戦	松高六対〇都立農林高校 松高〇対二都立八王子工業高校
------	------------	-------------------------------

二回戦 松高八対〇都立農業高校  
 (七回コールドゲーム)  
 三回戦 松高九対〇瑞穂農芸高校

（八回）コールドゲーム  
決勝戦 松高五対三東電学園高校  
なお、東電学園は昨年度夏季大会で準優勝し  
た実力校であります。（一回戦がないのは、  
ノーブラhmaです。）

夏季全国大会予選  
一回戦 松高十三対〇中野電波  
(五回コールドゲーム)

国体出場の強豪であります。そのチームと対戦して、一対〇と負けましたが、松高野球部の実力がわかると思います。

二回戦 松高一対二都立江北高校  
内容的には互角でしたが、最終回に逆転され  
てしまった。  
は、秋季関東大会  
フ、  
一回戦 松高十三対一都立田無工業  
(五回コールドゲーム)  
二回戦 公高六対〇都立瑞穂農芸高校

松高六対四都立八王子工業高校  
松高三対二都立第一商業高校

以上長く書いてきましたが、まとめて書きまと  
すと、十二勝（コールドゲーム四回）、四敗、  
全得点七十五、全失点十六。

松高野球部の特徴を書きますと、  
長所

○部長が大変。  
○第一投手はもちろん、第二投手も大変す  
ばらしい。

- 守りが固い。
- 機動力がある。

○打力は特に爆発力はないが、平均して打てる。

○部長を中心によくまとまっている  
短所は特にないが、闘志に欠ける。

以上述べたとおり、精神的にも充実させたい  
は、技術だけでなく精神的にも充実させたい  
と思います。そして、関東大会に出場するこ

とを目標にがんばりたいと思います。  
新入部員の入部を期待しています。

一度しかない高校生活！何か心から打ち込むものを見つけたいのです。放課後の約二時間、白いボールを追って、グラウンドを走り回る……これこそ、高校生活の生きがいともいえるでしょう。

男性的なスポーツと見られがちですが、そんなことはありません。今や日本のソフトボーラーは世界一です。松原のソフトボールをあなたたの入部で、世界一にすることだってできるのです。

續晉書

卓  
球  
部



我々は、現在週三回の活動日があり、その内容は、柔軟体操、ロードワーク、トレーニング、試合形式またはコーチによるマンツーマン形式の練習が主である。ここまでは他のクラブとそう違いはないが、他のクラブと最も異なる処は、最後に述べたコーチによるマンツーマン形式の練習であり、我々の先輩であるコーチは、少ない時でも必ずといっていいほど四人はいる。このため自分達より数段上の技術を先輩達の長いキャリアや経験談に基づいて教えてもらえる。これほど多くのコーチが出てくるクラブは他にないだろうと自慢である。しかし、コーチが多いとそれだけ言うこともおのずから違つてくるわけなので、ここで大切なのは、つまり技術上それぞれのコーチの良いと思う点を取り入れなければならないことにある。また自分自身のしつかりした考えがないとただいたずらに、コーチの

○フリー・バッティング  
○素振り etc

- キヤツチボール  
○トスバッティング  
○個人ノック

で不法行為をあえてする蛮風を伴う弊があつたので、剣道では粗暴を深く戒めようとするためである。また、封建時代からの因習的な礼義の観念では、上下関係を明らかにするこ

員のほとんどが有段者

## 体操部

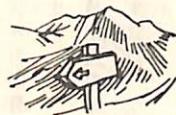


今から二年前までは、この松高には体操というものはありませんでした。そこで今の三年生の有志によって同好会として設立、それから一年たつた今、体操同好会は、クラブ委員会の承認を受けて正式に体操部として活動でき予算も取れるようになりました。今のところ部会は二年の男子が三人、女子が三人ですが、実際に活動しているのは合わせて三人ぐらいです。一年生の方は男子が五人、女子が七人ですが、これもまた二年生と同じに活動しているのは八人程度です。活動人員が少ないのは、まだ同好会の気分がぬけきれないためと思いませんが、それにもまして運動する用具、場所がないためだと思います。でもそれ以上に皆を弱気にしてしまうのは、体操といふ運動の内容です。たとえば、男子の場合、床運動約三十種以上の運動、鉄棒、跳馬、あん馬などと、他のスポーツにくらべて、わざ多い運動だし、一步間違えれば首の骨を折るよりも心に強く感じていることなのです

何よりも心に強く感じていることなのです

ら、鋭敏で、とぎすまされた神経を、一つ一つの動作に集中して演技する。平均台の上で雨の時期に入り、やむなく中止となつた。飛び箱では何よりも機敏に、そして、床運動では鳥のように優雅に、それは、女子にしかできない美しさの特権ではないでしょうか。そして部員は、前にも書いたように、一つ一つマスターしていくことに誇りを感じています。体操部は、前にも書いたように、若い新鮮なクラブです。そして若い女生徒諸君！私達と一緒に、「体操を楽しもう」のとばのもとに、集まりませんか。

## 山岳部



○活動報告  
四十五年度の活動は、あまり芳しくなかつた。五月九、十日—新人歓迎山行 西丹沢、桧洞丸  
新入部員が三人という寂しい状態で行なわれた山行は、小雨が降り通して、快適なもので

つたり、頭から落ちたりするものが多いのです。これからもっとクラブ的要素を初めてやる人にとっては、これほど恐ろしいものはないと思います。だから皆他のスポーツへ行つてしまふのではないかと悲しいのです。誰も一度やつてすぐできるわけがないのですが、体操の場合は、長時間じっくりとやらなければならぬので、気短な人達は、すぐやめてしまうわけです。それに体操は、試合や練習の時、チームというものがないでやりたくなければいつまでもやらないでいられるし、やるとなつたら自分一人でやらなければどうしようもないものです。こんなことを書くと他の部から相当おこられますが許してください。今まで用具もなく、試合にも参加せずに、だらだらやってきました。試合といえば、今年の三年生が一年生の時に新人戦に参加したのと、四十四年度の新人戦に参加しただけです。何しろ用具に恵まれない松高では、仕方がないと思います。このことについて先生方にお願いしているのですが、どうもさっぱりといった具合です。練習が、どうもさっぱりといった具合です。練習に毎週曜、水曜、木曜の三日間で、どん

うも体操館の四分の一しか使うことができません。また、ただ単なる美容体操ではありません。また、ただ格好をつけて平均台の上で演技したり、音楽にのつて動きまわっているのでもありません。体操は、徹底した個人プレーです。部員が百人いても、その一人一人が、演技の内では個々の体操をやれば、より美しくなります。いえ、人なのです。ですから、他のクラブに比べて、部員同志の結びつきが弱いかのように見られがちですが、決してそんなことはないという事を、是非みなさん知つてもらいたいと思います。そして、それは現在の体操部員が

同好会からやつとクラブに昇進した若いクラブです。若く美しい松原高校の女生徒諸君！体操をやれば、より美しくなります。いえ、单なる美容体操ではありません。また、ただ格好をつけて平均台の上で演技したり、音楽にのつて動きまわっているのでもありません。人いても、その一人一人が、演技の内では個々の体操をやれば、より美しくなります。いえ、人なのです。ですから、他のクラブに比べて、部員同志の結びつきが弱いかのように見られがちですが、決してそんなことはないという事を、是非みなさん知つてもらいたいと思います。そして、それは現在の体操部員が

部は金がかかる、危険である、厳しいなど、敬遠する理由に使われるが、多少の金はかかるが、後の二つについては全く心配がないと断言する。今年度としては、次の諸点にポイントを置きたい。

- ・登山知識の吸収
- ・山行回数の増加
- ・トレーニングの内容を技術面にもかたむける

松高生は山岳部などあるのかと思つてゐる人が多いのではないかだろうか。山岳部のP.R.、高校山岳部の水準に達することなども、今年の課題である。

## テニス部

昨年は、以前に比べて練習内容を多少変えた。それは男女の練習日を分けたことである。松高獨得の東西向き一面しかないコートで、男女が不満なく練習するための課題である。

その結果、今まで公式戦近くなつても、ほとつた処置である。  
○活動計画  
今年度は、もつともと発展してゆきそうです。誰も一度やつてすぐできるわけがないのですが、体操の場合は、長時間じっくりとやらなければならぬので、気短な人達は、すぐやめてしまうわけです。それに体操は、試合や練習の時、チームというものがないでやりたくなければいつまでもやらないでいられるし、やるとなつたら自分一人でやらなければどうしようもないものです。こんなことを書くと他の部から相当おこられますが許してください。今まで用具もなく、試合にも参加せずに、だらだらやってきました。試合といえば、今年の三年生が一年生の時に新人戦に参加したのと、四十四年度の新人戦に参加しただけです。何しろ用具に恵まれない松高では、仕方がないと思います。このことについて先生方にお願いしているのですが、どうもさっぱりといった具合です。練習が、どうもさっぱりといった具合です。練習に毎週曜、水曜、木曜の三日間で、どん

うも体操館の四分の一しか使うことができません。また、ただ単なる美容体操ではありません。また、ただ格好をつけて平均台の上で演技したり、音楽にのつて動きまわっているのでもありません。体操は、徹底した個人プレーです。部員が百人いても、その一人一人が、演技の内では個々の体操をやれば、より美しくなります。いえ、人なのです。ですから、他のクラブに比べて、部員同志の結びつきが弱いかのように見られがちですが、決してそんなことはないという事を、是非みなさん知つてもらいたいと思います。そして、それは現在の体操部員が

は男子なりに、女子は女子なりに有効的な練習が数多くできるようになった。しかしその反面、いままだより男女間の理解というものが薄らいできてしまったようである。

又、昨年はコーチが不在のこともあって我にとつては下級生を教えるのに苦しい年であった。そのため、夏の合宿においては、OBがコーチになつて下さつて我々を指導して下さった事には感謝しております。

さてこれらの目標は、部員相互の理解である。やはり、互いの理解なしにはクラブの運営はむずかしいものである。

次にコーチの獲得である。部員達のいろいろな意見を聞いて下さるために必要である。

そしてその他多くの困難も、全員が一体となつて克服していきたいと思う。

### 「お願い」

昨年は例年なくコートが荒らされました。部員の注意も聞かず、平気でコートに入る人、はたまたクラブの最中に二階から板やピンを投げる人。一面しかないコートです。学校のものです。又、ものがもし人に当つたら危険です。どうかこういうことはやめて下さい。

最後に十一月四日に行なわれた世田谷大会

に、春、苦敗させられた駒大附に勝つて二回戦に進んだが、都立千歳ヶ丘に三対二でおしくも敗れた。新人戦においては、都のベスト

5に入る学習院、京華商業、玉川学園とのリーグ戦を行なつてゐる。第一回戦学習院にはおしくも三対一で敗れた。第二回戦、三回戦は、今年の一月十日に行なわれる予定である。

サッカー部は、今後少ない練習時間を有効に生かして、個人個人の能力の向上をめざして、一日も早く、より強いチーム作りを目指し、そのチームをしのぐような練習をめざすつもりです。

で三位、次の試合で江北高校と当たり、二二〇で負けました。

(男子)

現在二年生が引退し、ほとんど一年だけの練習で、時間・内容などは女子とあまり変わりませんが、基礎力の養成、柔軟体操なども思つています。ラグビーは、高校生活に柱を建てる、将来、精神面において、何かを与えてくれるでしょう。あなたの気持ちひとつで楽しく、面白いスポーツになります。



### (女子)

活動時間は毎週木曜日を除く、放課後三時半～五時まで。練習内容は、バス、トスワーリー、アタック、スリーメン、コンビネーション、サーブ、etc。OBの指導により、二年五名、一年十一名の部員が練習に励んでいます。

今年の試合成績：新人戦は、第一ブロック

において、守屋・内山組が二位に入賞したことをお知らせしておきます。

ラグビー部のこれからの方針は、ラグビーを楽しむということです。これは遊ぶという意味ではありません。この意味を理解できるまで入部した人はラグビーを続けて下さい。ラグビーは男のスポーツなので、当然のことながら、温かい、やさしい心を持つている女子のマネージャーを募集しています。

### ラグビー部

練習日は、木曜日を除く五日間。内容は、バス、キック、タックル、スクラム、ダッシュの基礎を中心に、フォワード、バックスを一体化した練習。

試合の成績は、春の関東大会予選で東京都ベスト10にのこり、関東大会出場。全国大会予選は、試験終了翌日というハンドもあり、体調が悪く一回戦で敗退。



### サツカーパー

サッカーパーの昨年度の活動は、関東大会及び高校選手権や新人戦の予選に参加したことです。特にサッカーパーの場合は関東大会と高校選手権の予選が一緒にあるわけで、我が松高

スポーツである」と言わわれている。このよう

にラグビーほど人生というものを表わしている

スボーツは他にないだろう。だから、私達

ラグビー部員は、皆にラグビーをやつて欲し

い、ラグビーを人生の踏み台にして欲しいと思つています。ラグビーは、高校生活に柱を思つてます。ラグビーは、高校生活に柱を

建てる、将来、精神面において、何かを与えてくれるでしょう。あなたの気持ちひとつで楽しく、面白いスポーツになります。

で三位、次の試合で江北高校と当たり、二二〇で負けました。

(男子)

現在二年生が引退し、ほとんど一年だけの練習で、時間・内容などは女子とあまり変わりませんが、基礎力の養成、柔軟体操なども思つています。

昨年度は、関東大会で三十二位でしたが、夏の大会ではふるわず、新人戦では第一試合十五対一、十五対四と二セットとも圧勝したが、第二試合駒大附とぶつかり、一セッ

ト目はサイドアウトが多く得点できず十五対四対〇とリードしたが、しだいに追い上げられて十五対七でおしくも落しました。

柔道部

柔道部員は少なかった。一年生が自分も入れて二人、二年生が三人、三年生はまったく出て来ないので実際に活動する人数は、たつたの五人。それに前にのべたように、畠はボロボロになつたものばかり。これらの畠を修理する為に必要な予算はゼロ円！こんな状態では、たとえ柔道に対しても情熱があつたとしてもやる気はないであろう。だからみんなにそう思われてもしかたがないでしよう。

こんなことを言つたら、顧問の先生に怒られるかもしれませんのが、部長である私もやる気はなくなる。しかし、こんなことをつぶやいているだけではせつから先輩達が今まで築いたばかり部員をふやそと、一年生の教室を一つまわり、やつとのことで、部員を作ることができた。それに新しい畠も体育課の方で十枚ほど入れてもらうことができた。でも、もうちよつとほしいのだが。

今年度の一年生は、はじめて練習をしていました。それに新しい畠も体育課の方で十枚ほど入れてもらうことができた。でも、あとの成績であつた。

松高の柔道部が、これからどんどん発展す

るよう我々一同、頑張っています。

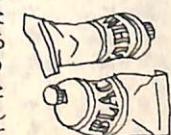
バスケット部

現在のバスケット部の悩みの種は、部員のない事です。特に二年生は、男子二人、女子三人と試合にのぞむことすらできません。一年生男子六人、女子八人の中から頼る他にはないのです。いや、試合に出るのが二年優先というわけではありません。「力のある者が試合に出る」のは当然の事です。一年生が二年生より力があれば、二年生の大会に一年生のみが出ることも考えられます。しかし、女子十一人はともかく、男子八人ではあまりに少なく、大会前の試合形式の練習も思うようにできません。少し話はますが、ここで一年間のごく簡単な予定を書いておきましょ

最後に、その実力はというと、男子は前に書いたとおり二年生が少ないこともあってあと一步というところで、今年の新人戦は、大会にのぞめませんでしたが、その前、国体では、三年生の活躍で、都内数百校の中で、ベスト8にくらいこみました。準々決勝では、早稲田実業に惜敗してしまいましたが、その実力は良くわかると思います。このように例年ベスト8には入れませんが、毎年ほとんど三十二位には入っています。

副部長のひきつきがあり、私たちは心をあらはす。この当時、先輩から私たちへ部長、たに、一步をふみ始めた。といつても、高校生活になれていなかつた私たちは、クラブのことなんて手も足も出なかつた。同時にその時から、先輩たちの出席が少くなり、どうクラブを運営していくべきかも、なかなか教えてもらうことができなくなつた。したがつて、まったくクラブとしてのまとまりがなくなり、部員同士、部員の顔すらわからない……という状態が何ヶ月も続いた。しかし「これではいけない、なんとかしよう」という人たちが、ごく少数だが、いたのだった。「やつぱりムニコ、無気力ではいられない。よん

美術音



六月	八月	体力増強
九月	十一月	新人戦
十二月	四月	それに対する練 大会・欠点補充

副部長のひきつきがあり、私たちは心をあらたに、一步をふみ始めた。といつても、高校生活になれていなかつた私たちは、クラブのことなんて手も足も出なかつた。同時にその時から、先輩たちの出席が少なくなり、どうクラブを運営していくべきかも、なかなか教えてもらうことができなくなつた。したがつて、まつたくクラブとしてのまとまりがなくなり、部員同士、部員の顔すらわからない……という状態が何ヶ月も続いた。しかし「これではいけない、なんとかしよう」という人たちが、ごく少数だが、いたのだった。「やっぱり私たち、無気力ではいけないわ。なんとか、活発にさせましょうよ……。」と、松高三無を吹き飛ばすように、それからといふもの、私たちは猛烈にがんばつた。部員を集め、松原サロンを開き、だんだんと、内部の基礎

固めをしていった。もう、試験や勉強は、そ  
っちのけである（先生、ごめんなさい）。そ  
して、四月には、新入生が入部してきた。な  
んと、それは、私たちの期待（？）をはるか  
にこえ、十人以上の部員をむかえることがで  
きた。十人が十五人、十五人が二十人と、現  
在では二十三人というばく大な、そして貴重  
な数になつた。私たちは、そんな新入生をむ  
かえ、また、また、どう運営していくべきか  
考へてしまつたのである。なにしろ、人数が

はり、クラブを育てようと、みんなで努力しなかつたクラブから、部員同士で激しい討論の中で得たこと……。それは、努力するということがだつたのではないだろうか。なにも成功はともかく、私たちは、とにかくがんばった。それだけで満足であつた。

さて後半だが、今までは文化祭がおわるとどうしてもクラブが不活発になりがちであつたが、今年はここ数年発行できなかつた部誌を作つたり、部園にフレームを作つて植物を育ててみようなどと、かえつて前半より活氣がでて部員がまとまつてきたので、前半をおぎなう意味でも、一生懸命やろうと思つている。

手芸部



多い。そして、私たちがこんなにもたくさん  
の後輩を持ったことは初めてだったからであ  
る。そこで考えたのが、山田での合宿である。  
美術部創立以来、初めての試みであつた。自  
炊、あのすがすがしい山々、私たちはおもい  
おもいに、スケッチをしたり、油絵をしたり、  
そして、ころげまわつたり……。

たからではないだろうか。無気力、無関心、無責任では、クラブは育つていかない。私たちが、みんなで考え、実行し、そして、振り返ってみた時、そこには、大きな進歩がある……そこでこそ、授業では得られない、何かを得ることができるのではないか。

## 手芸部

生物部

そして、文化祭。夏休みからの合作を基盤に、個人作品、ねん土……etc、と、力を入れ、私たちの目標であつた文化祭をむかえ

どおわったが、二年生が少なかつたので、や  
や、クラブに活気が足りなかつたと思う。そ  
のために、合宿が行なえなかつたり、充実し

「作る」というのはとてもすばらしいことだと  
思います。一つ一つをしていねいに作りあげる  
のは、難しいのですが、できあがった時の



ての苦労ではないんです。でも練習をしていく過程において、部員は何かを学びとつていくようです。「私にとって演劇部は自己分析です」という人もあり、「私にとって演劇部は自己逃避」だという人もあります。それは人それぞれの考え方の差で、求めるものは、「君にとって演劇とは何か」ということです。これについてはつきり答えられる人こそ我が演劇部の求めるパーソナリティであり、演劇する資格があるのでないでしょうか。

一般で言う「写真部」です。



## PHOTOGRAPHIC CLUB

一般で言う「写真部」です。

現代は、いろいろな方面で、写真が氾濫しています。

事件記者の撮る証拠写真。

写真家たちの撮る芸術写真。

新聞社に売ろうと、トップ屋の撮る現場写

真。

マニアによる鉄道等の写真……etc

いつもはどうまく書けないようであった。あらためて小筆での練習の必要を感じると共に「もっときれいに賞状を書いて渡せたらなあ」と感じた次第である。

最後に一言、文化部では毎年新入部員が少ないが、書道部は特にひどく、今年は0であった。書道部は、そんなにしゃつちよこばつた部ではないノ楽しんで字を書きながら、少しづつ字がうまくなる、そんな部である。今一度の新入生には、どんどん入部してもらいたいものである。なにも、運動部だけが部ではないのだから。

## 文芸部



あなたは、クラブに入っていますか、いませんか。あなたは、何のために、何を求めて、クラブに入ったのですか。どうして、あなたは、クラブに入らないのですか？文芸部と関係ない話からしていくのを、許して下さい。

文芸部は、いま最大の、そして最後になるかもしれない暗礁にのりあげているのです。

みなさんは、写真がどのようにできるか、ご存知ですか。みなさんは、ただ写真屋にフィルムを持っていけば、魔法かなにかによつて、自然にできるものだと、お思いのことでしょう。が、しかし、それでは、実におもしろくない。そう考えたのが写真部です。

「ふん、写真部なんて黑白写真しかできないじゃあないか。」と、おっしゃる人もおりますが、それは大きな間違いなのです。そりやあカラー写真こそ我が写真部ではできませんが黑白だけじゃなくて黒赤、黒青、黒黄にもあるいは、それらを混ぜたいろんな色の写真もできるのです。写真の技術は限りなく広げられ、また、今も広げられているのです。どんなものでも記録する、これが写真なのです。

アリ一匹をクローズアップ。設計図等の複暗い教室の中。遠くの木にとまっている鳥。

## 写 真 部

一般で言う「写真部」です。

アリ一匹をクローズアップ。設計図等の複

写。動いている物……etc。

そんなのを、たとえ、どんな条件におかれています。

事件記者の撮る証拠写真。

写真家たちの撮る芸術写真。

新聞社に売ろうと、トップ屋の撮る現場写

真。

マニアによる鉄道等の写真……etc

A 「おれ、あそこの女子高にガールフレンドができたぞ。」

アリ一匹をクローズアップ。設計図等の複

写。動いている物……etc。

一度きめたことのあるし、先生のいうよう

## 書 道 部

一般で言う「書道部」です。

アリ一匹をクローズアップ。設計図等の複

写。動いている物……etc。

一度きめたことのあるし、先生のいうよう

なことは、芸術上しかたがないという派、や

い。もし文芸を芸術を、愛する人がいたら、

このやめる文芸部にはいって、少しでも文芸部っていうものを、君自身を、よくしてほし  
いんだ。

これで文芸部の紹介は終ります。クラブに入っている人は、今はいつてあるクラブを、もう一度、考えてみたら、入っていない人もクラブっていうものを考えてみたらどうでしょか。

食  
物  
部

部員数二十五名 活動日は週に一度(火)  
顧問の弓家田先生の指導で、クラブ活動を行なっています。

七月～十月……文化祭（食物部では、クラブ紹介もかねて、食堂を開く。クッキー、カップケーキ、フルーツ……etc）を作れる。

英語部

英語部 尚、部員数は、現在二十一名。入部希望者はいつでもおいでください。それからミーティングは毎月一回、お茶をのみながら反省と活動しているのか?」って。よくそんなこと言つてくれちやうわね。と、部員は皆フンガ英語部というと、ずいぶん英語のできる人がいます。これらだんだん活発な活動をみたいに思つてゐる人がいるかも知れないけれど、少しでもできるおこしたいと思つています。現在練習日は、ど、英語ができないけれど、少しだけできる。でも、確かにそんな派手な存在ではない。集まつて、できなくちや入部してはいけない。火・木で、火曜日は、井田先生ご指導のもとに、簡単な会話。木曜日は、タイプヒアリングを行なつています。場所は、前者が三時半から会議室において、後者も同じく三時半より三Dでやつてます。興味のある方は、いつでも結構ですから、見学がてら参加してくれださい。費用は無料で、すぐ打てるようになります。

英語部は、あなたがつくるクラブです。



英語部は、あなたがつくるクテアです

尚、部員数は、現在二十一名。入部希望者は  
はいつでもおいでください。それからミィー  
テングは毎月一回、お茶をのみながら反省と  
か、楽しい話などをしています。もちろん

それでは、ここで話し合いを持たない、いや、もとうとしないためにどんな障害が生じているのだろうか。

それでは、ここで話し合いを持たない、いや、もとうとしないためにどんな障害が生じているのだろうか。

それでは、ここで話し合いを持たない、いや、もどうとしないためにどんな障害が生じているのだろうか。

自分だけは、特殊であるという意識ーこの意識は、へんなところで進歩を妨げている。たとえば、悪い状態（テストで悪い点をとつたなど）におちいっても、自分は特殊であるという意識が働くのである。

それでは、ここで話し合いを持たない、いや、もとうとしないためにどんな障害が生じているのだろうか。

自分だけは、特殊であるという意識——この意識は、へんなところで進歩を妨げている。たとえば、悪い状態（テストで悪い点をとつたなど）におちいつても、自分は特殊であるという意識が働くのである。

他人も自分と同じであると認めない意識——ちょっと見ると前と同じに見えるが、内容は

「自分だけは、特殊であるという意識——この意識は、へんなところで進歩を妨げている。たとえば、悪い状態（テストで悪い点をとつたなど）におちいっても、自分は特殊である」という意識が働くのである。

「他人も自分と同じであると認めない意識——ちょっと見ると前と同じに見えるが、内容は全く違うので区別していただきたい。この意識は最も目につく。」個人尊重をしない」と

それでは、ここで話し合いを持たない、いや、もとうとしないためにどんな障害が生じているのだろうか。

自分だけは、特殊であるという意識——この意識は、へんなところで進歩を妨げている。たとえば、悪い状態（テストで悪い点をとつたなど）におちいつても、自分は特殊であるという意識が働くのである。

他人も自分と同じであると認めない意識——ちょっと見ると前と同じ見えるが、内容は全く違うので区別していただきたい。この意識は最も目につく。『個人尊重をしない』<sup>1</sup>といふ行為に表われる。たとえば、悪口などを直接面と向かって、言う人（ムロン彼には、ふざけて言っている様子は少しもない。）を

それでは、ここで話し合いを持たない、いや、もとうとしないためにどんな障害が生じているのだろうか。

自分だけは、特殊であるという意識——この意識は、へんなところで進歩を妨げている。たとえば、悪い状態（テストで悪い点をとつたなど）におちいつても、自分は特殊である。という意識が働くのである。

他人も自分と同じであると認めない意識——ちょっと見ると前と同じに見えるが、内容は全く違うので区別していただきたい。この意識は最も目につく。『個人尊重をしない』といふ行為に表われる。たとえば、悪口などを直接面と向かって、言う人（ムロン彼には、ふざけて言っている様子は少しもない。）を見かけるが、僕は、その人の無神経を悲しく思う。悪口を言わされた人も、われわれと同じ

それでは、ここで話し合いを持たない、いや、もとうとしないためにどんな障害が生じているのだろうか。

自分だけは、特殊であるという意識——この意識は、へんなところで進歩を妨げている。たとえば、悪い状態（テストで悪い点をとつたなど）におちいっても、自分は特殊であるという意識が働くのである。

他人も自分と同じであると認めない意識——ちょっと見ると前と同じに見えるが、内容は全く違うので区別していただきたい。この意識は最も目につく。『個人尊重をしない』など、いう行為に表われる。たとえば、悪口などを直接面と向かって、言う人（ムロン彼には、ふざけて言っている様子は少しもない。）を見かけるが、僕は、その人の無神経を悲しく思う。悪口を言われた人も、われわれと同じ人間なのである。全く一つの罪惡ではないだ

それでは、ここで話し合いを持たない、いや、もとうとしないためにどんな障害が生じているのだろうか。

自分だけは、特殊であるという意識——この意識は、へんなところで進歩を妨げている。たとえば、悪い状態（テストで悪い点をとつたなど）におちいっても、自分は特殊であるという意識が働くのである。

他人も自分と同じであると認めない意識——ちょっと見ると前と同じに見えるが、内容は全く違うので区別していただきたい。この意識は最も目につく。“個人尊重をしない”という行為に表われる。たとえば、悪口などを直接面と向かって、言う人（ムロン彼には、ふざけて言っている様子は少しもない。）を見かけるが、僕は、その人の無神経を悲しく思う。悪口を言われた人も、われわれと同じ人間なのである。全く一つの罪惡ではないだろうか。

他にもあるかも知れないが、ここでは一応この二つにとどめておく。

それでは、ここで話し合いを持たない、いや、もとうとしないためにどんな障害が生じているのだろうか。

自分だけは、特殊であるという意識——この意識は、へんなところで進歩を妨げている。たとえば、悪い状態（テストで悪い点をとつたなど）においても、自分は特殊であるという意識が働くのである。

他人も自分と同じであると認めない意識——ちょっと見ると前と同じに見えるが、内容は全く違うので区別していただきたい。この意識は最も目につく。『個人尊重をしない』と、いう行為に表われる。たとえば、悪口などを直接面と向かって、言う人（ムロン彼には、ふざけて言っている様子は少しもない。）を見かけるが、僕は、その人の無神経を悲しく思う。悪口を言われた人も、われわれと同じ人間なのである。全く一つの罪惡ではないだろうか。

他にもあるかも知れないが、ここでは一応この二つにとどめておく。

この意識を打ち碎くには、何度とない話し合いが必要であると思う。そして、その意旨（他人の）を知るという点では、ル・クールが最小単位じゃないだろうか。

実用的なもの、例えば、西洋料理、中華料理、日本料理……etc。

ル・ケール御意見板

ル・クール御意見板

教養と無教養の間で

夏休み中はほとんど計画通りに実行されず、二学期が始まつてから本格的にやり出したのが悪かったです。もう少し計画性を持たなければいけないと感じました。来年は、少し考えるつもりです。けれども、他の練習は、だいたい予定通り行きました。

クラブ内容は、一ヶ月に四回しかないのですが

ル・クレルで何がどうすくにわかるはずはなかつた。というのも、委員の人に原稿を頼まれるまでチラッと見たことが一回だけというしまつだつたからである（ムロン、一九号もまともに読む人が何人いるのかも疑問だ）。今、やつと一八号を読みあげた。すると、なんだかとても空しい気持になつてきたのだ。というのは、こんないろいろな意見を出す人がいる中で、実際の話し合いの場であるはずべきホーム・ルームでは、全く静かであり、それは、『沈黙は金也実践講座』に出ているような感じさえ受けるからである。これでは、いくらすばらしい意見を持つつていのといつても、僕には理解できない。

友つて何なのだ！

僕は、交際範囲が、かなり広い方だと思つてゐるが、親友はない。ふつう友達がいのある奴とは、相手がリーダーの予習を忘れてきたら教えてやる。など常にソントクがあるもんだ。イヤダ、イヤダ。

女の子

わかんねえなあ。サッパリ！ 女の子てのは、中学時代から週刊誌などで、『男の子はこう考へている。』など、人の心を読み取る練習をしているようと思えるんだけど……。あのイヤミックラシィザーマス夫人を思い出した。

死

人間は死ぬ。ああそれなのに、その貴重な時間のひとかけらをなんの考へもなしにしていく！ これも黒板に二十四時間が書いてあります。そして一日が終れば二十四時間のわくだけを残しただけで、他は消して、再び、そこへ一日が書きこまれていくようなカンジが、悪いんだ。一日一日色の違う太陽がのぼるのならば……。（バッカラシイ！）。

いっしょうけんめい、一流大学、一流会社を目指し、マイ・ホームの中で死にやがれ。

# 松高 365日



1月 13日	体育祭準備	1月 3日	防火訓練
1月 14日	体育祭	1月 12日	期末考査
1月 20日	保護者会	1月 16日	終業式
7月 8日	期末考査	7月 25日	スキー教室
7月 11日	演劇教室	7月 26日	
7月 13日	終業式	7月 30日	
7月 21日	水泳教室	1月 1日	元旦
4月 27日		1月 8日	始業式
4月 8日	始業式	2月 1日	三年期末考査
4月 9日	入学式	4月 4日	学力検査
4月 10日	対面式	4月 6日	野外調査
4月 13日		4月 10日	映画教室
4月 15日	健康診断	1月 12日	
4月 16日		1月 27日	
4月 18日	クラブ紹介	3月 9日	1・2年期末考査
9月 1日	始業式	3月 12日	
9月 2日	実力考査	1月 14日	卒業式
10月 2日	文化祭準備	1月 25日	終業式
10月 3日	文化祭	1月 26日	スキー教室
5月 1日	実力考査	1月 30日	
5月 4日	遠足	3月 9日	
5月 12日	生徒総会	3月 12日	
5月 13日	レントゲン	1月 14日	
5月 16日	PTA総会	1月 25日	
5月 29日		1月 26日	
5月 30日	中間考査	1月 30日	
6月 2日	開校記念日	3月 30日	
6月 11日	マラソン大会		
6月 11日	体育祭練習		



一年 M · K

# 詩のへき

一年 千絵

月が大きく輝いて

赤いバラがやさしくゆれる

そして

そよ風が髪をゆらす時

窓辺にすわって

ギターをひき

あなたの為に歌いましょう

でも それは

月が大きく輝いて

いなければダメ

そして

バラは赤く

そよ風は髪を  
ゆるさなければダメ  
なぜって それは  
月の大き  
輝く時でなければ  
あなたは その窓辺にいないから  
赤いバラがやさしく  
ゆれていなければ  
あなたは私は  
思い出してはくれないから  
そして 髪をゆらさなければ  
あなたは私をいとおしいとは  
思つてくれないから  
ああ… あなたはなん  
あなたは歌います  
あなたにささげて  
美しいすぎんでしよう  
何もかも

昭和四十五年二月某日、私の名前、いいえ  
私についての番号を世の中のある場所でみつけ  
たのです。それと同時に私の運命も決まつた  
のでした。「世の中のある場所」とは、そう、  
もう、おわかりですね。この学校の中での  
です。

この番号が書かれてあった為に、薄暗い病  
院の受付けのような所へ行き、何やら紙袋を  
もらいました。何かいいものでも入っている  
のかなあと、いさんで開けてみますと、服  
装規制に関する内容。アテがはずれてしま  
ました。

この番号が書かれてあった為に、薄暗い病  
院の受付けのような所へ行き、何やら紙袋を  
もらいました。何かいいものでも入っている  
のかなあと、いさんで開けてみますと、服  
装規制に関する内容。アテがはずれてしま  
ました。

星に恋した人は

自分の涙におぼれました

太陽に恋した人は

恋の炎に苦しみました

空に恋した人は

自分のおろかさをにくみました

そして

自分におろかさをにくみました

友情とは

ある女の子が云いました

二酸化炭素みて空気の一・五倍の重さ

だから友情ってのも

無色透明で

とても重さを感じるものなのよ

ある男の子が云いました

友情とは

月の光の色と

太陽の色をまぜて

友情とは

こんなものなのかもしません

友情とは

海にしずめてどんな色か

見ているみたいなんだ

友情とは

「リボン、かみ止めは実用化されたものに限

り使用を認める。」

とにかくです、このワラ半紙の注意事項の

全てが守られたのなら、すばらしい学校になると間違いないしということばかりでした。

そしていよいよ、四月某日、この私が、在学者名簿にのった記念すべき日、私は驚きに驚いたのです。

なぜか……

かみをクルクルとまき、ハイソックスをは

すから、タンスの中からブラウス全部を引ばかり出して、母親と慎重に検討致しました結果、すべてダメではないかという結論に達したのであります。

又、こういう項目もあります。

「くつ下は、ハイソックスを禁止する。」

「カーディガン等の色は、黒、紺、グレー、

茶色とする。」

それから、

「リボン、かみ止めは実用化されたものに限

り使用を認める。」

た、諸先輩方にかかつたからなのです。勿論、カーディガンは、赤、白、黄とバラエティーに富んで、目を楽しませてくれたのです。またたく、「カンパンにいつわりあり」と言おうか「誇大広告」と言おうか。

先生方は気付いていらっしゃるらしいのですが、どういうわけか黙認しているんです。数ヶ月前、制服廃止論が出ましたが、今ままでも自由ではないですか。おやさしい先生方ばかりです。

今、松高の制服は、限界にきているのです。中途半端なのです。制服なんであつたって、今ではもう、役目を果たしてはいらないのです。もつと厳しくするなら、それでもいいのです。とにかく、どつちつかずの現在の状態がいけないのです。

それなら、ここで松高から完全に制服がくなつた時のこと想像してみます。結構、いいのではないかでしょうか。ただ、初めのうちは大胆になるような気もします。そして、そのうち、自分自身で自覚して、良い結果、つまり、先生方や生活委員会でいう「高校生らしさ」が生まれると思います。ただ、それまでに時間がどれだけ費されるかが問題なのです。

海の音は  
時のように  
さよなら  
つれてゆくから  
砂の中の  
はだしの指に  
おちた涙の  
味は 知らない

教室に行きたくない

でも 行ってしまうだろう

しゃべりたくない

でも 無神經なことばは

そこいらじゅうに 散らばるだろう

すこしぐらいわかっていると思ったのに

すこしぐらいわかつてくれると思ったのに

たつたひとつのことばで

みんなは 旅にてた

さびしさ汽車が 横切った

泣いてたって しようがないぜ

だから

涙のつぶを おしこもう

にぎりしめた手の中に

だれにも あいたくない

でも あつてしまふだろう

ひとりでいるには

さびしすぎる

さびしすぎる

## 敗 地

一年 K・T

僕は 肯定の悦定に酔いしれた

「すると永遠とは肯定のことであつたか」

## 幼稚な反抗

二年 M・O

ニヒルな笑みを浮かべ  
わいせつに笑っていた

海は

砂が砂を握り 波が波を殺す  
僕は一人 海の上を歩いていた

海中深く身を沈めるために

白い女が立っていたように思えたのだが

あれは

蜃氣楼だったのか

グラスにそそがれた海水は

鮮血となつて

生々しく黒の世界へと還つていった

熱気が全身を貫く

だれかが

僕の名を呼んだような気がして

振りむくと

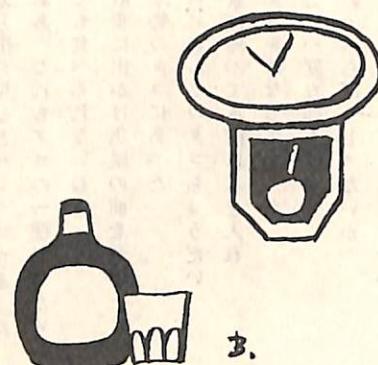
去勢された風が泣いていた

「すると血はこいつが  
流れたものであつたか」

でも 目を鼻を 口を

赤い血は間違いなく突き抜けていた

グラスを傾けると



教室に行きたくない  
でも 行ってしまうだろう  
しゃべりたくない  
でも 無神經なことばは  
そこいらじゅうに 散らばるだろう  
すこしぐらいわかっていると思ったのに  
すこしぐらいわかつてくれると思ったのに  
たつたひとつのことばで  
みんなは 旅にてた

## 一月

あれから 半年  
あなたも わたしも  
かわりましたね  
かわってなんか  
ほんとは  
かわってなんか  
いえ いえ  
わかっているのです  
いえ いえ  
かわつてなんか  
いないのでしょう  
ほんとは  
かわつてなんか  
いないのでしょう  
あの時も  
おなじように  
心は はなれていたのだから

さびしさ汽車が 横切った  
泣いてたって しようがないぜ  
だから  
涙のつぶを おしこもう  
にぎりしめた手の中に  
だれにも あいたくない  
でも あつてしまふだろう  
ひとりでいるには  
さびしすぎる  
さびしすぎる

学校は、あくまでも学問をする場、ファッショント競う場ではないぐらい、だれだってわかっているのです。

私はなにもここで制服廃止論を説いているではありません。本当に言いたいことは、

あれだけ立派な規則があるのに、何一つ守られていない。しかも学校側も一切関知していない事に腹立たしさをおぼえるのです。いつ

私は前に、ファッショント競う場ではないこと、なくしてしまえば良いのに、それもせず、注意もしない、本当にあきれ返ります。

私は、あくまでも廃止になつた時のことです。なぜか、つてだつて、今は形式的にそうです。でもここで田として書き加えます。それは、あくまでも廃止になつた時のことです。なぜか、つてだつて、今は形式的にはあつても制服があるのですから。

もっと学校は、はつきりするべきです。

不 安

タコちゃん

一年 K・K

死を偶然としながらも  
生へ縛られている自己に  
矛盾を感じ  
生の真理を必死に追求する  
しかし あまりにも  
自己を崩壊してしまった今  
何ができるというのだ  
自己に誠実でなくなつた おれに対し  
永遠の憎悪をかきたてながら  
過去 現在 未来の自分に  
目を 見開こうとした  
だが  
それさえも できなくなつた今  
何があるというのだ  
不安のみが抱擁している僕に

自己に誠実でなくなつた おれに対し  
永遠の憎悪をかきたてながら  
過去 現在 未来の自分に  
目を 見開こうとした  
だが  
それさえも できなくなつた今  
何があるというのだ  
タコをはなしてやつた  
こいつ変な顔してゐるな  
のつペラぼうじやないか  
あたりまえだ  
えさあげなかつたもん  
おなかすいぢやつたな  
フライパンにタコをのつけて焼いぢやつた  
ぶーんと鼻をさすにおい  
もういいかな

うん おいしい 全部食べちゃつた  
それから タコの冥福を祈つた  
タコちゃんほんとにありがとう

真赤なローソクは若者の情熱  
そのローソクの光の中にあるのは  
若者の躍動と信頼だけ  
桃色のローソクは若者のやすらぎ  
そのローソクのささやきは  
若者の涙と夢の世界  
白いローソクは若者の悲しみ  
そのローソクの流れは  
若者のとざされた悲しみとむなしさだけ  
若者にはいつでも炎がある  
消えそうな炎でも けつして消えない  
そんな炎があるからこそ、  
俺たちは生きている！  
そんな炎があるからこそ、  
俺たちは勇気をもてる

ローソクの小さな小さな炎がゆれる

二年 中西美穂子

中

二年 石川まゆみ

頭がいたいんです ものすごく  
何が何だか解からないんです  
頭のまわりを 世界が時間が  
狂つた蝶のように飛び回つてゐるんです  
何故私は生まれてきたんです  
何故私は生きつづけるんです  
何故……何故 何故なんです  
わからんないんです おしえて下さい  
私は生きているんですか  
本当のことと言つて下さい  
本当は本当は私は生きていなひんでしよう  
頭がいたいんです ものすごく  
何がなんだか解からないんです  
世界がすべて止まつてしまつたんです  
動いているのは 私だけ  
ふと指を見るとベンダコがあつた  
ああ これもタコの一種じやないか  
でも食べられないね  
散歩に出かけ魚屋の前を通ると  
おじさんこのタコちようだい  
本物のタコにあつた  
家に帰つて水槽に水を入れ  
タコをはなしてやつた  
こいつ変な顔してゐるな  
のつペラぼうじやないか  
あたりまえだ  
えさあげなかつたもん  
おなかすいぢやつたな  
フライパンにタコをのつけて焼いぢやつた  
ぶーんと鼻をさすにおい  
もういいかな

きれいな夕やけをみつければ  
とびあがつて よろこんで  
ずっと 西の空をみつめるような  
そんな女の子いなか  
花が枯れたり 折られたりしてたら  
だまつてしましくやりだすような  
そんな女の子いなか  
かりがねが  
おとずれたことも  
空間のことであつた  
いつたい  
わたしをどこへ運んでしまつたのか  
わたしをどこへ運んでしまつたのか  
自分のこといつしょうけんめい考えてて  
どんどんさきにいっぢやつて  
あつごめんて ひきもどして  
くれるような  
そんな男の子いなか  
(ひきもどして こなくともいいや)  
とにかくどんなことでも  
その人らしい  
素直な純粹さを持った人いなひかな

あいつあバカだと言われてみたい

どうせハンパンこのオイラ  
バカになりたいなりたいよ  
いままでまじめにさぼって

いたけれど

氣分一新 気ちがいに

なつたつもりのこのオイラ  
ゾウキンもってそうじする

どうせやるならっていてきよ  
バカをしようぢでやりやしそう

意地と度胸のそうちなら  
だれにも負けないこのオイラ  
バカしかできないそうちなら

バカになりますこのオイラ  
こんなきたないボロ校舎

そうじしたってなんになる  
こんな校舎にだれがした！

もんくをいつてもはじまらない  
そうじやらなきやこの室は、

やらなきやまるでブタ小屋よ  
いくらなんでも・人間・オイラ

夕やみせまる教室でまだまだやるのは  
氣ちがいさ

ワックスなんぞは関係ないさ  
みがいてみがいてみがきぬき

この床きれいにしましようや  
白木の床にしてみせましよう

一回往復するならば  
ドロとよごれでまつくろよ

まつしろしろしろぞうきんも  
ドブの水よりまたひどい

まつしろしろしろぞうきんも  
水ですすぎばその水が

たつた一度で  
まつくろよ

ぞうきんらしくなりました

狂った男の心意気

やぶれかぶれのぞうきんがけよ  
みんなそろつて競争だ

だれがはじめにまいるやら  
一回二回と往復つづけ



千倉の駅から寮までも「まだか」「くたびれた」などとは言わず  
に、きちんと整列してもくもくと歩いた。

天気は、霧がたちこめ、海水は、冷たく絶好の海水浴日よりも  
た。

じやりじやりの砂の上に寝つころべって霧の上からふりそそぐ太  
陽の光で肌を焼き、豪快に泳ぎまわったので、寒さでまっさおにな  
るということはなかつた。

夕方、どこからか拾つてきた鉄板でザリガニを焼いて、食つた。  
晩めしもうまかった。めしのあとは、散歩に行く人、TVを見る  
人、酒を飲みに行く人(?)など、さまざまだった。

そして就寝。

隣の室で「ウ・ウ・ウ・藤村俊二でエーす。」と言つてゐるのを、  
テープにとつたり、下の室の話し声をとろうとして失敗したり、と  
いうこともなく、皆すぐに寝てしまつた。

○月×日  
朝の新宿。皆、思い思いのすんばらしい服を着て集合。ドタドタ  
と電車に乗り両国へ。両国駅では、改札口をまちがえることもなく  
すんなりと乗り込む。

発車まで、かなり時間があつたにもかかわらず、コーラやファン  
タを買いに行く人もいない。うちわを落としてしまつて非常コック  
をつかつてドアを開け、拾つたなどといふこともなかつた。

列車が動きだすと、花札もやらず、トランプもやらず、眠りもせず  
に、ただ、ただ景色にみとれていた。「ホモ・ソーセージ」とい  
う立て看板には見むきもせず、遠くに海が見えれば「海だ、海だ。」  
とはしゃぎ、前に山があれば「トンネルだ、トンネルだ。」とまた  
はしゃぎ、ちつともたいくつしなかつた。

今日もまた絶好の海水浴日よりで皆楽しそうである。

午後から海へ行く気がなく、寮の屋根の上で日光浴をした人もい  
ず、よくまとまって行動していた。

昨日の鉄板でまずい貝(私には)を、焼いて食つた。その時H君  
とHさんはイチャイチャしていた。  
夜の散歩のとき、駅まで「た」のつくものを買ひに行つた。道々  
こわあい話ををして、Sちゃんを泣かしてしまつた。悪い子だ。  
そして二日めの就寝。

どういうわけか、男の子らしきものが、一人まぎれこんできたの



## 水泳教室

一年 野口 敬子

○月×日  
すんなりと乗り込む。

発車まで、かなり時間があつたにもかかわらず、コーラやファン  
タを買いに行く人もいない。うちわを落としてしまつて非常コック  
をつかつてドアを開け、拾つたなどといふこともなかつた。

列車が動きだすと、花札もやらず、トランプもやらず、眠りもせず  
に、ただ、ただ景色にみとれていた。「ホモ・ソーセージ」とい  
う立て看板には見むきもせず、遠くに海が見えれば「海だ、海だ。」  
とはしゃぎ、前に山があれば「トンネルだ、トンネルだ。」とまた  
はしゃぎ、ちつともたいくつしなかつた。

で「先生だあ！」とわめいたら、押入れの中にかくれてしまった。

「行つたか？」

「まだよ！」

という会話を数回くりかえした後、やっと出してやる気になつた

ので、

「もういいよ。」

と言つたら、あせつて出ていった。おやすみ。

○月〇日

午前中、寮のおばはんと、すいかを買いにいく。おばはんの親戚の家に寄つて、かりんとうをこちそになる。二人の男の子をやつて、すいかをもたせようと思つたが、考えが甘く、結局もたされた。

午後からは遠泳（同じところをぐるぐる回る）なので、皆はりきつていた。

遠泳が終わると、皆、大事業をなしとげたあの満足感にあふれ、すいかわりをした。皆さん勘がよくボカボカ割るので、スカットさわやかでおもしろかった。というのはウソでちつとも割れなかつた。女の子は、非常におしとやかで優雅に食べていたが、男の子はあたりかまわず、人目もばからず、えんりょなしにガバガバ大口あけて食べていた。

……おもしろくない？！でしょ…………

夜、どうしてこんなにヒマなんだろう。

二人でほたるとりに行く人たちもいるのにと、何故か、あたしはふて寝。

そして三日めの就寝。

うつらうつらしていると、女どもが帰つて來た。ついでに、男の子が入つてきて、花札をやり始めるということはなかつた。だから、先生におこられて次の日一人づつ室に呼びだされるということもなかつた。そして皆、文句も言わずに、素直に寝た。

○月〇日

午前中、岩ごつごつの所へ行く。男は反対側の岩ごつごつの所に行く。男どもと引き離されてしまつたが、とつてもさびしくはなかつた。

もう帰る日なのだ。駅までヨタヨタ歩く。われ先に席をとらず、ゆずりあつてある姿は真に美しかつた。また皆、静かだつた。

竹で作った紙玉鉄砲に、列車のトイレでぬらしてきた紙をつめ、飛ばして遊ぶということは誰もしなかつた。ましてそれちがつた列車に入れたり、どつかの家に入れたりすることはなかつた。

どうにかこうにか新宿に着く。

皆、親の顔がみたいらしく、勇んで帰つて行つたので、高野によつて、百八拾円のチョコレートバフェを食べて帰るというような人はいなかつた。

とにかく有意義な水泳教室だつた。

（おひまい）



写真

上・ボダガヤの大塔、北面（大菩提寺）  
下・シヴァ神と妃パールヴァティー（ウマー）の像

## ヘインド紀行 ①▽

八月一日（土） 羽田から CALCUTTA へ

一二時四十五分、ジェット機は動き始め、一三時離陸。一四時二〇分、鹿児島桜島の噴煙がよく見えた。海の波は彫刻されたもののように動かない。台湾の西海岸線に沿つて飛んでいる。あと一時間で

香港に着く由。一六時三〇分、耳が痛くなる。ファーステンシートベルトのランプがつく。どんどん高度を下げている。大きなあくびをすると耳の痛みはよくなる。高層建築物の建ち並ぶ香港の島が迫つてくる。一六時四五分香港空港着。

全国地理研究会主催のインド旅行に参加し、昭和四五年八月一日に東京羽田を発ち同二六日に帰着した。ヒンズー文化、仏教文化、イスラム文化等に接しての感激。スリナガルの子供たちの歓迎の声は今も耳に残りなつかしく思う。サバナ気候、熱帯モンスーン気候の景観も心のカンバスに描かれている。これらを思い出しながら旅行の経過をたどつてみようと思う。

一七時三〇分、香港発。カルカッタまでの距離二二八〇マイル

(三六六〇キロメートル) 時間四時間一〇分。高度は一万〇九〇〇メートル。メコン川のメアンダーは実に見事である。広大な森林は静かでここで戦争が行なわれているとは思えない。メナム川もよく見えた。

いよいよガンジス川のデルタが眼下に見える。薄暗くて川の水だけが白く見える。日本時間の二二時、カルカッタのダムダム空港に着く。日本との時差が三時間半あるので現地時間の一八時三〇分である。外へ出るとさすがに暑い。三三度C。湿度もかなり高い。バスを集めて一括入国手続。空港の出口で一人ひとりに白い花のレイを首にかけてくれた。花の名はレジリングというのだそうだ。一寸甘ずっぱい匂がする。バスはかなり古い廃棄処分一步手前の物。街をよく観察しようと思つて一番前に席を占めたので、エンジンの熱気も加わって一層暑さは激しい。路傍に寝ている人、テント生活をしている人。電気がなくランプか蠟燭をともしている小屋が続く。牛が多いのは驚く。牛は自在天シヴァ神の化身として尊崇されている。聖牛が道をふさいでいる。牛と人とが共存しているといった感じだ。暗い所を抜けてやっとカルカッタの市内に入る。雜踏する町を経てチャーリング通りにさしかかる。ここは近代的ビルの建ち並ぶ立派な通りだ。我々の泊るオペロイグランドホテルに着いたのは二〇時四五分であった。冷房完備の快適な近代的ホテルだ。ダムダム空港から約二〇キロ。

八月二日（日） CALCUTTA のインド博物館  
一〇時三〇分、ホテルのロビーに集合。インド博物館の見学に行く。歩いて一〇分位。

### 三世紀の遺品。)

第四室グプタ朝（四～六世紀）時代の作品。主として鹿野苑精舎跡の発掘品。

#### 第五室ヒンズー教、ジャイナ教関係の彫刻。

ナタラージャ（舞踊王）とよばれるシヴァ神の舞踊像は身体の激しい動きをあらわしていて美しいボーズである。シヴァは破壊の神であり、同時に創造の神でもある。その活動が激しく宇宙のリズムにつながっているそうである。足には諸々の災害をもたらす魔を踏まえている。シヴァ神の右半分は男、左半分は女体であるという。（青銅製）

バーレルヴァアティーはシヴァ神の妃で、温和で女性的で調和的おだやかに表現されている。

ドゥルガーもシヴァ神の妃であるが、こちらは活動的で多面多臂の威力を發揮して悪魔の頭目アスマ退治をする。

カジユラーホ（チャンデラ朝一～世紀）の「手紙を書く女」「化粧する女」等の像もある。

二階は工芸品、刺繡、ビルマ、インドネシア、チベット等の仏像、動物の骨格や剥製などがあり、三階はミニチュアの蒐集品である。ミニチュアは元来は写本の挿絵から発達したもので細密な筆法で描かれた小型の絵で、中世以後とくに近世になつたものである。

午後は自由時間だったので、マイダン広場を過ぎてヴィクトリア記念館の方へ行つてみる。その途中の道路の交叉点にチャンドラ・ボースの銅像が建っていた。ボースは一九二八年（昭和三）反英イ

博物館は一八一四年デンマークの植物学者ナサニエル・ウォリッヂの提唱に起源があり、一八六六年インド博物館ができ、現在の建物が建設され一八七五年から一般に公開されるようになつたといふ。

第一室は純インドの彫刻（B・C・約二五〇年～B・C・一〇〇年）

マウリア朝第三代アショカ王（B・C・三世紀）が、領内の各地に石柱を建て詔勅文を刻んだのは有名であるが、その文には、王が戦争によつて多くの民衆や獸畜を殺傷したことを恥じ、仏法に帰依し、熱烈な宗教的信念を述べ、人民が心から王に共鳴し協力してくれることを望むということが刻まれている。ラームブルヴァーの石柱の柱頭の獅子像がある。雄健で写実的であるが、イスラム教徒によつて顔が削られているのは残念だ。

バルフート塔門と欄楯がある。仏舍利を納めた塔のある境域は聖な所であるので、その周囲に垣をつくつた。その垣が欄楯で、それに仏伝や仏の本生譚が浮彫りされている。

ヤクシャ（男神）とヤクシ（女神）の像もこの時代のもので、ともに仏教を守護する神である。ヤクシーは乳房が大きく、胴が小さく腰が大きい。足下に邪鬼を踏んでいるところはユーモラスである。

第二室はガンダーラの彫刻（B・C・約一〇〇年～A・D・約三〇〇年）クシヤン朝第三代カニシカ王の時代（A・D・二世紀）が中心で、ギリシャ彫刻の影響をうけた仏教文化で、端正で威厳な感じがする。菩薩の頭部、釈迦の出城等がある。

第三室はマトウラ（二～五・六世紀）およびアマラワティ（二・

ンド独立連盟を結成し、イギリスの弾圧にも屈せず自由インド仮政府の主席になった指導者であるが今も尊崇の的となつてゐるのである。

ヴィクトリア記念館は一九二一年（大正一〇）プリンス・オブ・ウェールズ（後のジョージ五世）によって開かれた白亜のサラセン式を加味したルネッサンス式の豪華な建物。一五年の歳月と七六〇万ルピーを費してできた大理石造りの建築で、地上六五メートルの高塔の頂には勝利の女神が置かれている。内部には美術品や歴史的文書等が陳列されている由。

この記念館の前にはヴィクトリア女王の銅像が建つてゐる。女王は一九世紀イギリスの世界帝国としての発展期に英國王となり、一八七七年以來、インド女帝をも兼ねた。

一九時よりホテルのサーキュスで、インドの民族舞踊、民族音楽の鑑賞会があつた。最後にサリーの着け方について実地指導があつた。初めに腰に紐をまきつけて結ぶ。サリーは六ヤード四五インチ（約六メートル）の布をぐるっと腰に巻き、上端を紐の内側に押しこむ。次に親指と中指との幅を何回かとつて（四、五回）それを腰にはさみ、残りの布を肩にかけるのである。サリーは優雅で美しい。

八月三日（月） CALCUTTA 市内および近郊

カルカッタの地名はカーリを祀つたところにあるガート（カーリガート）から起つたものであろうと云われてゐる。一七〇〇年ベンガル州の太守アザム王がイギリスの東インド会社にカルカッタを中心とする地域を売り渡した。その後イギリスはこれを根拠として土王やフランス等と争い地盤を確固たるものとしていた。ヴィリ

アム城塞が完成し、付近の藪が切り開かれてマイダン（広場）が作られたのは一七七三年だった。その後イギリスのインド総督の駐在地となつたが、低湿地であることと酷暑のため一九一二年総督はデリーに移ることになった。

私たちちはカルカッタは海に臨む港であると考えがちだが実は河口（海）から一三〇キロも距っている。ガンジス川のデルタを流れる一支流フーラー川の河岸に設けられた河港である。一万トン以上の船は入れない。しかし東インド最大の貿易港としての地位を保つているのはヒンターランドが広いからであろう。

人口六七〇万、インド最大の都市である。

九時、ホテルのロビーに集合、バスに分乗して出発。チャーリング通りからマイダンの緑の芝生を横切って、フォートウェイリアムの横の道を北へ向つた。四ツ辻に立つ警官が日よけの洋傘を皮帶にさしこんでいるのも炎暑の国ならではの風景だ。小さな店舗の立ち並ぶごみごみした町に入る。人々はのんびりしているが何となく活気がある。牛がやたらと多く町の中を悠々と闊歩している。中国人の店の建ち並ぶ通りに出る。二〇年前からある由。町のはずれに出る。

さて話には聞いていたが、家の壁や埠に牛糞をべたべたとはりつけているのを見た。一枚の大きさは約直径二五センチ位。指の型がしている。これを乾燥させて燃料にするのだそうだ。この乾燥したもののがザルに一ぱい入れて頭上運搬している風景も見た。

ジャイナ教寺院を見学。靴をぬいで境内に入る。切子細工のピカピカで飾られている。予言者シタルナスジの大石像が安置してある。

#### 八月四日（火） GAYA, BOHD GAYA

（旧名 BUDDHA GAYA）

七時三〇分、ガヤ駅着（ハウラー駅より約四〇〇キロメートル）。

一〇時ガヤ駅ホームに集合。バスで市内の見学に出かける。古い町である。間口三メートル位の店が並んでいる。赤煉瓦の建物は裁判所だそうだ。その廊下にもゴロゴロと人が寝ている。まもなくラモサガーロ池があつて女たちが洗濯をしている。ヒンズー教の主神ビシュヌの足跡を祀るビシュヌボーデの寺に着く。すべてヒンズー教の寺では入口で靴をぬがされる。この寺は十七世紀に建つた八角形の殿堂がある。近くにファルブ川が流れている。寺と川との間に火葬場がある。

一一時一五分、アクサシャイというヒンズー教の聖地に着く。巡礼者の最後の聖地という。羊の群が通る。大きな池があり、菩提樹が木蔭をつくっている。木蔭に入ると涼風が額を撫でる。一一時五〇分ガヤ駅に帰着。気温三八度。汗が流れる。

午後は一五時にホームに集合。南方一〇キロ余の地にあるボドガヤに向う。釈迦がカピラ城をぬけ出してこの地に来て苦行林や前正覚山で苦行すること六年。その効のないことを知つて山を下り、尼連禪河で沐浴、村の乙女スジャーターのささげる乳靡（ニユーミ）をとつた後、ボドガヤの地に来て菩提樹下で、結跏趺坐して悟を開いたという。仏教徒が四大靈地の一つとして尊敬している地である。（四大靈地とは仏生地カピラ城、成道地ボドガヤ、説法地バラナ西側塔があり仏像が安置されている。塔の背後、西側菩提樹下には金鹿野苑、入滅地クシナガラである。）

まもなく大塔が見えてきた。小高い岡の広場にバスは止つた。そこから靴をぬいで石段を下り大塔に近づく。塔は高さ五〇余メートルあり均齊のとれた美しい塔状の石造建築で六世紀の造立。中に仏像を祀る精舍がある。中程の二階に上り廻廊をめぐる。その四隅に小塔があり仏像が安置されている。塔の背後、西側菩提樹下には金

次にフーラー川に臨む広大な敷地を占めるダクシンネスワール寺に行く。ラマクリシュナ・バラマハムサが起居していた所という。ここは開祖が静かに瞑想にふけついたとき、膝に火のついた炭が落ちてきて骨まで焼けたが瞑想をやめなかつたという。ヒンズー教では人にサービスすることと瞑想することの二つが重要な行であるが、ラマクリシュナは人にサービスすることを特に強調している。そしてすべての宗教徒は平等だと主張する。

次に植物園に行く。雨が降ってきた。大王ヤシの並木を過ぎると大きな森にぶつかる。これは世界で一番大きな一本の木である。

榕樹（バンヤン）は、枝から氣根が垂れ下がりそれが地に付いて幹に変わったもので、三〇〇メートル四方をおおついている。樹齢二〇〇年という。

フーラー川の右岸ハウラー地区は工業地帯で煙突が多い。ハウラ一橋を渡るとそこは官庁街で立派な建物が多く、国旗がはためいているところもある。

一四時ホテルに帰り昼食。バンドは「上を向いて歩こう」と「荒城の月」を演奏してくれた。

一九時、ロビーに集合。バスでハウラー駅に行く。二三時三〇分ハウラー駅出発。汽車の旅が始まる。汽車は特別一等で勿論冷房。シャワー付。寝台車で一車一四人が定員である。我々一三〇名が貸し切つて特別列車である。

というような話であつた。夜になるとイルミネーションで大塔が

照らされて美しいのでそれまでここに休憩しているのだという。それなら一時間位の時間的余裕があるので、一人でさき程通ってきたとき道傍にあった法篋院塔の所まで行つてみたい。きっと日本の寺があるに違いないと思った。約五〇〇メートル位の距離である。確かに日本のものだと思った。行つてみるとインド人の子供たちが五、六人集まってきた。法篋院塔から左折して更に五〇〇メートル余り先に日本の寺があるといふので行つてみた。鉄筋コンクリートの二階建の建物があつて来意を告げると出でこられたのは日本人の尼僧であった。名刺を頂いたが桃源寺・鬼頭春光と書いてある。今、日本寺を建設中だそうと法篋院塔は奈良薬師寺の橋本凝胤師の寄贈されたものだそうだ。二階に仏間があり礼拝した。屋上から見る夕陽がとても美しいから御覽下さいと云われるので夕陽を眺めた。今までギラギラと照りつけていた太陽がいま西の平原に沈もうとしている。

「私はむこうの山々の姿を見て釈迦の寝姿のように思えてよくこれから眺めるのですよ。」

と話された。こんな所で日本の寺を造るためにがんばっておられる静かな尼僧の姿のどこにそんな情熱がかくされているのかと思って辞去した。私のためにインド人二人を道案内につけて下さった。時間がないので急いで元の場所に帰つてきた。なるほどライトに照らされた大塔は実に美しい姿を現わしていた。一九時ボドガヤをあとにバスはガヤへと走つた。約三〇分でガヤ駅に帰つて来た。我々の列車は貸し切りの専用車なので、我々のスケジュールに従い明晚までガヤ駅に止まつたままである。

#### 観光局長ソニーさんの挨拶。

たという。玄奘はここで一山の宗匠と仰がれていた戒賢法師について学び、二十九才から三四才まで五年を費し、やがて唐に帰つてからは經典の翻訳に精進した。後一三世紀にイスラム教徒が侵入して破壊し廃墟となつた。破壊前に大図書館があつたが、その本を燃やすのに六ヶ月かかったという。その後土に埋もれて一つの岡のようになつていて。それがスプーナー博士によつて一九一六年から三九年までの間に三五エーカーが発掘された。遺跡の凡そ十分の一である。門に入る壮大な赤色の塔がある。塔址に上り、僧坊や大学の跡を見下ろす。赤い土と緑の芝生とがよく調和している。菩提樹の木蔭は涼しい。遺跡は東西二五〇メートル、南北六〇〇メートル。

一一時一五分ここを辞去しバスでナーランダー考古博物館に行く。一一時三五分着。ナーランダー僧院の焼けたときの炭化した米粒や焼かれた図書の残欠などが保存されている。仏像のほとんどは首が欠けているが、イスラム教徒はひどく偶像崇拜を嫌うため、偶像を破壊したためであろう。いたいたい気がする。一一時五〇分博物館発。ラジギールのレストハウスに向う。一二時一〇分着。ここで持参の昼食。紅茶の接待をうける。

一四時三〇分からレセプション。

ビハール州観光大臣ナバールサインさんの挨拶。

「インドを真剣に見て、インドの本当の姿を皆さん方の生徒たちに伝えて頂きたい。皆さんはジャーナリストとは違い、奇をてらう必要はないのだから。玄奘三藏法師が来られた時は偉大なる仏教教学の中心であつた。その後イギリスの支配下に置かれその植民地政策の犠牲にしてきた。再び偉大なる国になるようにポンプアップしてもらいたい。」

#### 八月五日（水） NALANDA, RAJGIR

五時三〇分起床。六時朝食。七時三〇分バスにてガヤを出発。もなく大きなハルグ川を渡り大平原を北へ向う。川では洗濯をする女、砂利採取のダンブカーなどが見えた。所々に泥の家があらわれては後へ走り去る。所々木槿（ムクゲ）に似た紫色の花が見えて緑色の草原に僅かに趣を添えている。その花はヒンズー語で「マルワ」というのだそうだ。途中で象に乗つた村人に出あつた。ハネツルベの井戸が見える。ガンジス平原とインダス平原は東西二〇〇〇余キロ、南北二〇〇〇～三〇〇キロある。今我々はこれを南から北へ横断しようとしている。やっと山々が近づいてきて岡へ登つて行く。ラジギールのレストハウスで少憩。（ガヤから北東へ約七〇キロ）从此から更に北へ一五キロでナーランダーに到着。（一〇時三〇分）

マガダ国（B・C六～B・C一世紀）の都はラージャグリハ（王舍城）と呼ばれた。釈迦の時代にビンビサーラ王（B・C五四四～四九一）はその北方に新都を建設して移つた。新王舍城の北端にマングーの林があり、その中に大きな池があつた。その池にナーランダーという竜が棲んでいたという。この林のそばにあつた集落がナーランダー村である。ヴァラナシの鹿野苑から釈迦はこの王舍城（ラジギール）に来た。ここで二人の優秀な弟子を得た。これは智慧第一とされた舍利弗（シャーリップトラ）と、神通第一と讚えられた目犍連（マウドガリヤーヤナ）であった。釈迦はここで三カ月間説法した。仏滅後、マガダ国王シャクラーディチャがここに精舎を建てその後歴代の王が増築していく。七世紀に唐僧玄奘三蔵がやって来た時は仏教教学の中心として隆盛を極めていた。ナーランダ大学には数千の学徒が集まつていた。好学の気がみなぎつてい

る。

日本の皆さん。日本とインドは昔から非常に古いきずなをもつてゐた。日本とインドの友好が益々深まるようにならんでいる。日本とインドは工業化のやり方も違つてゐる。私どもは日本の経済的発展

をよく知っている。農業面、工業面における日本の著しい発展に非常に感銘をうけている。また日本の皆さんの愛国心にも深い感銘をうけている。また美に対する感覚に非常に感心している。特に更に感銘したことが二つある。一つは経済的物質的面で先へ進もうとすることは非常に難しい。その点からも日本の援助を期待している。ビハール州に皆様を迎へ、益々友情を深めたい。

今や地球は狭くなつた。毎年でも来て頂きたい。楽しい旅行をお続け下さい。」

ここを辞去して一六時、日本山妙法寺に行く。日蓮宗の若い僧七名がいて修行に励んでおられる。ここから約一〇分位で靈鷲山の下のリフトの駅に着く。リフトは日本の実業家が寄贈したものだそうだ。靈鷲山（グリドーラ・クータ）は釈迦説法の跡。ビンビサーラ王がその説法を聴くために麓から峯までえんえんと石階を築かせたといふ。山の南面の崖下が法華經講説の場所である。

危つかしいリフトで約一五分位。下を見ると樹木が茂り、谷間に大石がゴロゴロしている。山の駅から少し歩いて頂上に至ると真白いストウバ（仏舍利塔）があり、上に五輪があつてその上に金色の水煙のようなものがのつていて。紅茶の接待をうけて下山。一七時五〇分バスに乗り帰途につく。太陽が沈むと急に暗闇になる。電灯のない農家が見える。ガヤ駅に着いたのは一九時四〇分。列車は我々の帰りを待ちかねていた。夕食。二三時汽車はガヤ駅を発車。

一つの舟に乗る。老若男女とも濁つた泥色をした川に沐浴し合掌しか經文のようなものを唱え喜びに浸つてゐる。孔雀の羽根で作った扇や地図、バンフレットの類を舟で売りにくる。川幅は約一〇〇～一五〇メートル位で、緩やかに曲流する攻撃斜面側が左岸である。ヒンズー教では左岸には救済が、右岸には地獄があるといふ。人々が沐浴するのはすべて左岸。舟は左岸を下つて行く。左手には家やガートが並んでいる。まもなく火葬場が見える。薪を積んで死体を焼いているがここは撮影禁止。灰や骨はガンジス川に流される。その下流で人々はうがいをし水にひたつて感激しているのである。七時一〇分舟から上り、再びバスに乗つてホテル・デ・パリスに行く。ここで朝食。土産品の宝石やサリー、じゅうたん類を売つてゐる。

一〇時、バスにてホテルを出発。ヴァラナシはさすがにヒンズー教の聖地。ヒンズー教の寺院が一五〇〇余あり年間二〇〇万の巡礼者が訪れるという。

ドルガーテンブルに着く。ドルガーテンブルはシヴァ神の妻で、戦争と権力の神である。この寺ではシカラ（高塔）をはじめすべてが赤色に塗られている。ヒンズー教は自然のエネルギーを重要な土台としている。人間の生命の根源をなすエネルギーは血であり神もまたこれを求めておられるという宗教的意味から赤色を尊ぶ。ここには猿が放し銅いされているところからモンキーテンブルともいわれている。

この寺の左手には正方形のタンクがあり、水をたたえている。次にヒンズー大学を訪れる。この大学はマルビアという弁護士がインド中から寄附金を集めて作った大学で、一三〇〇エーカーの敷地に一万以上の学生がいる。一九一六年の創立。国際会館があり世界に一万以上の学生がいる。一九一六年の創立。国際会館があり世

## 八月六日（木） VARANASI(旧名BENARES)、 SARNATH

朝五時三〇分起床。六時ヴァラナシ駅のホームに集合。六時一〇分バスで出発。雨上りらしい。道がしつとり濡れている。街路に牛、水牛、豚、山羊、人間等雑多に同居しているという感じ。家の縁の上に山羊が上つてゐるのが見える。ガヤよりも立派な町。然しこそ人々の生活は同じようなものだ。街路に死んだように寝てゐる人もいる。山羊がふらふら散歩しているが、よく誰の所有かわかるものだ。街路樹も山羊に食われないよう、約二メートル位の高さに、竹を編んだもので保護されている。

ヴァラナシは、ヴァラーナ川とアシー川とが交わるところであるからヴァラナシという地名が生れた。普通ベナレスといわれているが、現地ではヴァラナシと呼んでいる。

ここはガンジス川の中流に臨むヒンズー教の聖地である。ヒンズー教によると、大自在天シヴァ神は靈山に住み、首には新月がかかる。天の川は新月と連なり、シヴァ神の頭から流れだすガンジス川とも連なつていて。人間が罪を犯してもこの聖なる川ガンジスに浴すると罪が消えて身心を清淨にするといふ。死期の近づいた人は財産を処分してヴァラナシに集まつてくる。そして予定通りここで死に火葬してもらいガンジス川と一体となることによつて生前の罪けがれが清められ、来世はよい身分に生れ変わるものと信じている。だからここには乞食が多い。

六時三〇分、ダシヤシバメーダ・ガートの入口でバスを下りる。乞食が「バクシ、バクシ」（慈悲）と云つて寄つてくる。坂を下つてガードの石段を下りる。ここは舟着場になつてゐる。我々は一〇人ずつに共鳴して壯嚴で神秘的なムードに誘われる。

次にゴールデンテンブルを訪れる。ヴァラナシにある一五〇〇のヒンズー寺院のうちチーフがこの寺である。バスを下りて、土産物を売る店の並ぶ門前町を八〇〇メートル程行くと寺の前に出る。浅草の仲見世のような狭い道だ。人があふれおまけに牛まで悠々と歩いている。ここもシヴァ神を祀る。一時イスラム教徒によつて破壊されたが一八世紀に再建された。一屯余の金が使われてゐる由。シカラも金色に塗られている。ここは敷地も狭く、道も狭いので、向かい側の家の二階からカーメラを構える。壇にガンジス川の水を汲んで神に捧げる人々が集まつてくる。

一二時三〇分、ホテル・デ・パリスへ帰る。昼食をして休憩。

一四時三〇分、ホテルを出発。ヴァラナシの北側に接続するサルナートまでは約一五分位で達する。先ずこの博物館を見る。入口有名なアショカ王の石柱の柱頭の獅子像がある。砂岩をどうやつてこんなにきれいに磨いたのか、誰にもわからない。アショカ王だけが知つてゐる。生き生きと表現されてゐる四頭の獅子が、背中合わせに四方をへいげいしてゐるのは、四方を守護する意味であろう。

その下に法輪が彫られている。法輪は仏を象徴する。車輪の形が円満で完全無欠であることが仏の法（dharma）に一致すること

から、その象徴としたものである。車輪には二四本の放射状の線があるのは法の二四の原理をあらわす。法輪は転ずることによって大きな威力を發揮する。転ずることは説法を意味する。車は動かなければ用をなさない。仏法、教は説かれなければ力をあらわさない。

初転法輪の仏陀像は黄色っぽい砂岩で実に美しい端正な姿である。バラ比丘奉獻のマトウラ石の仏陀立像もここにある。

仏陀の初転法輪の地、鹿野苑は博物館の隣である。緑の芝生と赤い土との対比が美しい。中央に建つダメークストーバ（塔）はさすがに堂々としている。大きな円柱の上にそれより少し小さい円柱がのついていて上はお椀をふせたような半球形をしている。下部の直径二八メートル、塔の高さ三三メートル、石造である。胴には浮彫の装飾彫刻が施されている。六世紀につくられたものという。

アショカ王時代の壯麗な堂塔は今はなく、ただ伽藍や僧坊の礎石があり日の面影を想像させるばかりである。鹿野苑精舎の跡である。玄奘三蔵の巡礼の当時（七世紀）は鹿野苑の全盛時代であった。バスに乗る所で、顔の色といい形といい日本人らしい僧侶の数人に会った。日本人かと尋ねると西藏人だと答えた。

一五時五〇分バスに乗り込みヨロヨロ。一六時二〇分ヴァラナシ州のマハラジャ（藩王）の城砦に到着。門には衛兵が立っている。宮殿にある武器や調度品、飾り馬車の道具などを見学。レセプション。宮殿には孔雀が放し飼いされている。謁見の間は奥の宮殿の二階にある。ここでマハラジャに謁見を許される。太った堂々とした人でインド史の研究家である。このベランダはガンジス川に



## 編集後記

仲良くなつてまとまりがでてきたからだと思うのだけれど。普通の生徒だったなら他の学年の中達と親しくなれないと思う。一年生でかわいいなあなんて思つてしまふよ。ル・クールのおかげで、生徒会のことや、裏話や、問題点などもわかつたし、自分の意見なんてのも持てたし。学校生活を楽しくするには、クラブでもいいし、委員会でもいいし、勉強するんでもいいし、ネコを飼うのでもいいし（関係ないネ）とにかくにかやることヨ。ただし一生懸命ね。学校が、つまらないなんていふのは、何んにもやつていかない人の言うことなのヨ。

ところで、今回のル・クールはなんとたつた五十頁たらずです。今までのようすに特集といったものは、最初にあるグラビアだけです。

ハレルヤ！ハレルヤ！編集が終わつたゾイ。この一年間なんと重い役だったことか。何度もおつぱりだしたくなつちやつて、でもそんなことするわけにはいかず、ズルズル引つぱつてきたル・クール。一度なんかは友達に「ル・クールなんて大嫌い！」と言つてしまつて。（先輩ごめんなさい）ところが、ところがよ、今思うね。ル・クールつてすばらしい／つてね。一年生の委員と

出っぱつており川風が涼しい。剣を抜いている衛兵はやせた老人であるが忠実そうな顔をしている。

マハラジャは今も多額の年金を受け裕福に暮らしている。一七時五〇分、ヴァラナシシリク工場を見学、一八時三〇分ホテルに帰り夕食。ここでヨガの見学をする。ソリヤナンダ氏、ヨガは肉体を苦しめ瞑想して神と通ずるのだという。

（本校教諭）



ヴィクトリア記念館（カルカッタ）

スタッフ

二年 植村 緑

小田 早苗

杉山 政子

二木乃り子

氏木 恵

篠崎 礼子

野口 双葉

館 雅子

峰尾 敬子

松沢 創

野口 敬子

菊江

(アイウエオ順)

カツト 野口 敬子・小田 早苗  
顧問 斎藤 仁男  
ル・クール第十九号  
昭和四十六年三月三十一日  
編集 松原高校生徒会誌編集委員会  
発行 東京都立松原高等学校生徒会  
東京都世田谷区桜上水四一三一五  
印刷 K・K トヨコ一印刷



ル・クール19号 東京都立松原高校生徒会